

デマンド運行型バスの アプリ予約件数増加に向けた取り組み

Eチーム：ペンギンの湯

デマンドバスの概要

相乗り
ドアtoドア

高齢者

アプリ予約



or 電話予約

アプリ

電話

1 : 9



テーマ

「アプリ予約件数」低迷の本質課題の特定

「アプリ予約件数50%」を実現するグランドデザインの提案

結論

高齢者

本質的課題

行政はアプリ予約を増加させたいが、
どうしても電話予約しかできない
高齢者が多い

施策

既存のイベントとのコラボ

若年層

本質的課題

若年層がデマンドバスを知らない

施策

若年層への周知強化

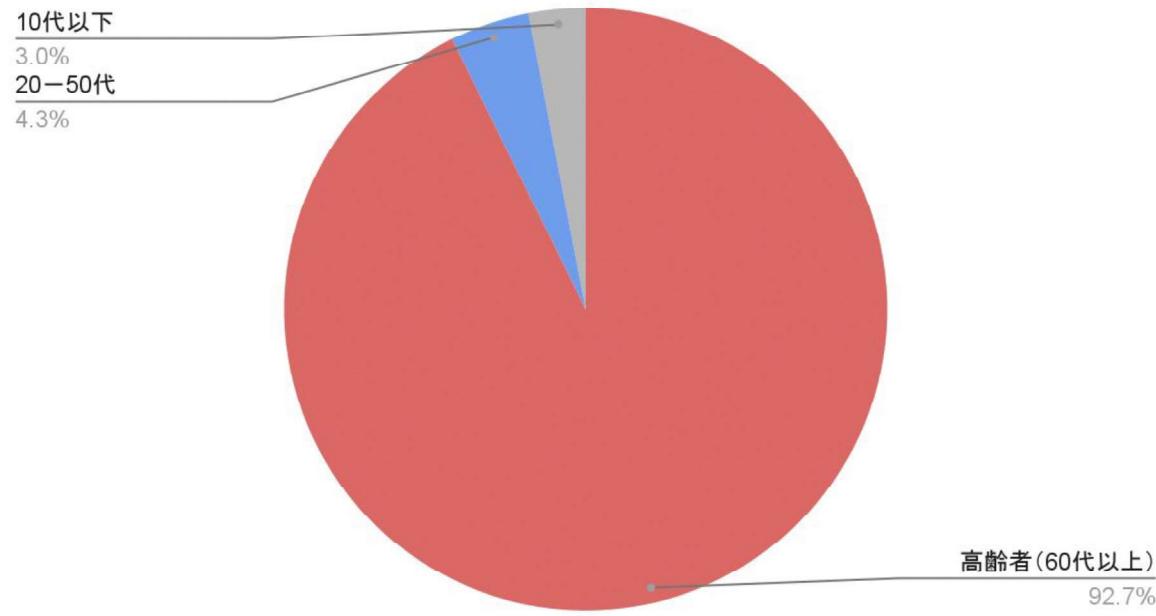
施策のターゲット

①高齢者(60歳以上)

②若年層

ターゲット:高齢者(60代以上)

デマンドバス利用者の割合



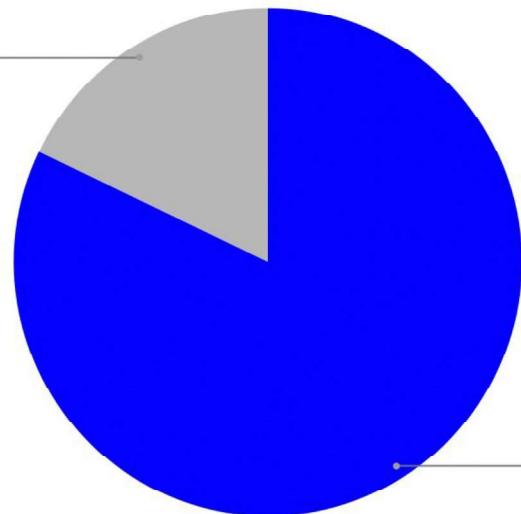
デマンドバス利用者の
90%は高齢者

アンケート結果

(デマンドバス利用者アンケート)

スマホをもっていますか

はい
17.9%



既存デマンドバ
スユーザー

- ・利用者の**80%**がスマホ未保有者
- ・身体能力的にスマホの操作が難しい

新たにアプリ利用を促進するのは**非現実的**



車があるから
デマンドバスは乗らない
高齢者(60-70代)

免許返納

スマホ・アプリが
使える



アプリで
バス予約

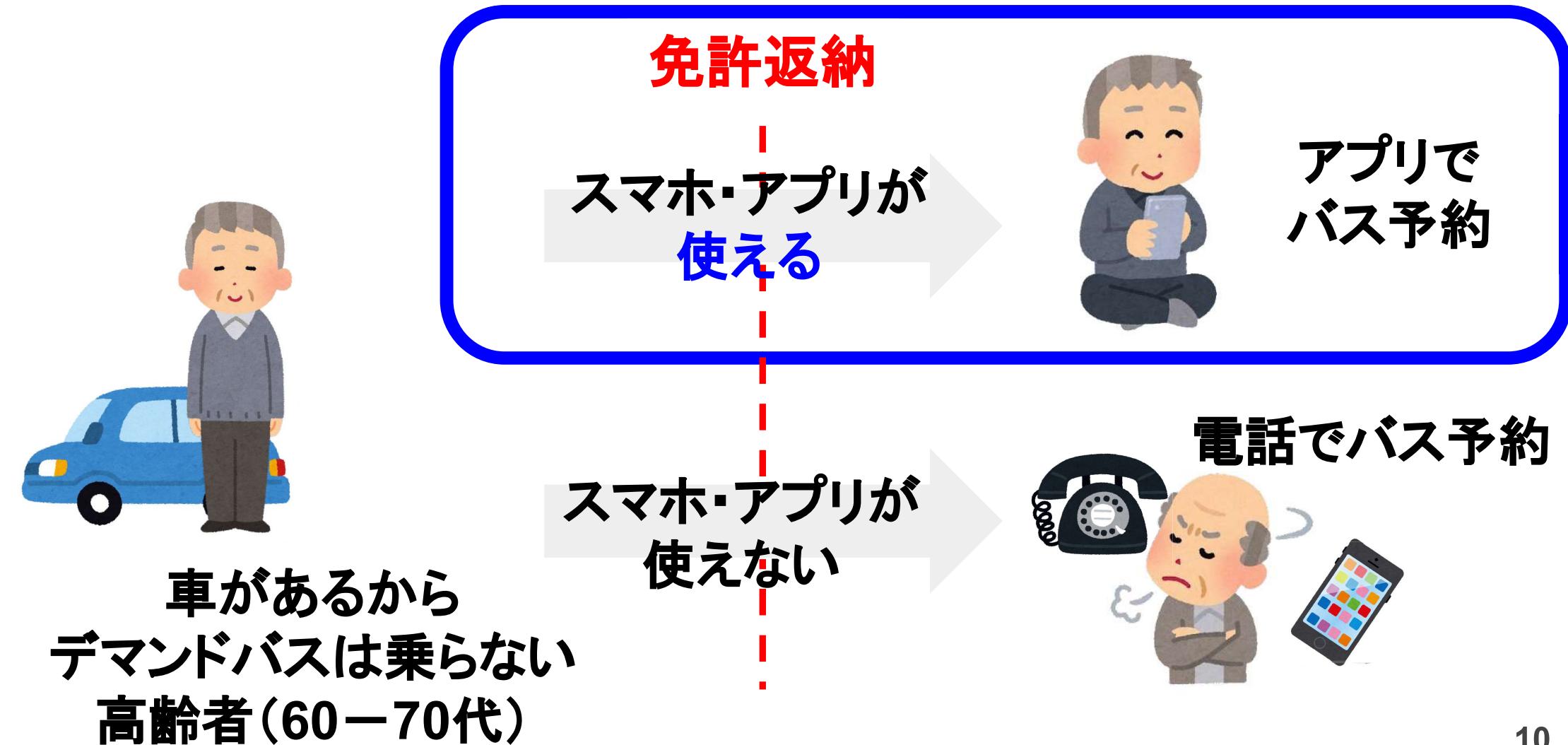
スマホ・アプリが
使えない



電話でバス予約

現状

このパターンを増やす施策が必要！！



課題解決に向けたまとめ

電話予約をしている既存デマンドバスユーザーはスマホを持っていない人が80%
アプリ予約に移行させるのは**難しい**

60-70代の車保有者を、**アプリ予約をする新規デマンドバスユーザーとして獲得**

アプリ予約件数を増やすことで、「2年後にアプリ予約50%」を達成

10~20年後、60-70代の車保有者が免許を返納し、
デマンドバスのアクティブユーザーになったとき、
恒常に電話予約しかできない層を生み出さずに済む

どうアプローチするか！？

デマンドバスを、ターゲットとしている層が
よく集まりそうな既存のイベントとコラボ

ターゲット

60-70代 アプリ予約をする
新規デマンドバスユーザーの創出

施策

- ・その1 お酒試飲会
- ・その2 スポーツ大会

その1

お酒試飲会



コラボ内容

『嘉麻市の酒蔵巡り』ツアーイベント × デマンドバス



デマンドバス導入理由

- お酒飲むことで**交通手段が限られる**から
- 人が多く集まるイベントは**バスの集客チャンス**だから

その2

スポーツ大会



コラボ内容：

嘉麻市連合クラブ連合会
老人クラブのスポーツ大会
×
デマンドバス



デマンドバス導入理由

- 運動後は**疲労**が溜まっているため、**帰る手段として最適**
- 口コミでデマンドバスの**アプリ予約が広まるチャンス**

私たちが行うこと



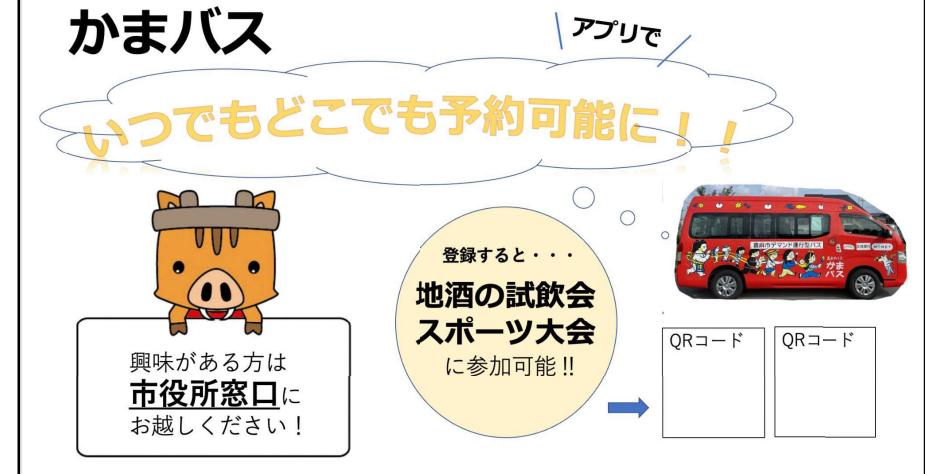
かまバス
×
嘉麻地酒
試飲会開催！

参加条件：かまバスのアプリ予約



詳細は市役所まで

〈スーパー、居酒屋など〉
イベントの周知を徹底



〈バス車内、市役所など〉
アプリ予約のメリットを
前面に出すポスター・チラシ

チーム：ペンギンの湯で広報を徹底して支援！！

嘉麻市さんへのお願い

<ご調整いただきたいこと>

- イベント主催団体と連絡をとる
- イベント当日(日曜日想定)の車と運転手の手配

<予算の確保>

- ポスター印刷代 91,650円 (50部×1,833円)
- デマンドバス ガソリン代 2,000円
- 運転手日当 8,000円
- かほあるペ宿泊代 21,000円 (3,500円×1泊×6人)
- ペンギンの湯チーム嘉麻市への渡航費 自費

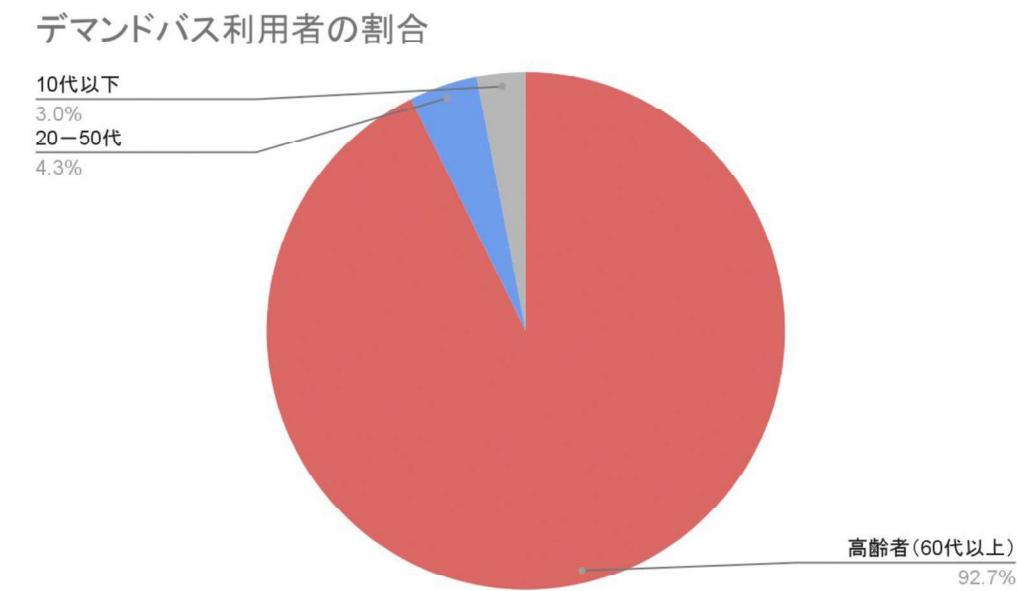
合計:122,650円

施策のターゲット

①高齢者(60歳以上)

②若年層

ターゲット: 若年層



若者層: **3%**

その他: 96%

デマンドバスが必要とされる場面

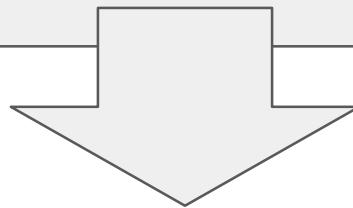
<成功事例: 富岡市>

アプリ予約50%を達成できている最大の要因はどこにあるか？

→想像していたより若い世代が使っている。

例えば、子供連れのお母さん、高校生、塾の送迎など。

雨の時に若い人が特に使っている。



嘉麻市にも必要とされる場面はあるのでは？

ペルソナの設定

小中学生の親

- 30代後半、女性
- 10歳の長男
- 8歳の長女
- 夫も30代後半
- 夫も市外でオフィスワーク
- 子供も大切にしたいが仕事にも集中したい
- 子供は市内の英会話教室に通っている
- 英会話教室は西鉄バスの停車場の目の前
- 家は最寄りのバス停まで徒歩 10分
- 子供の送り迎えは夫と週ごとに交代
- 子供のことは心配で1人で出歩いてほしくない
- 夫婦ともに途中で抜けられない仕事をしている



中高生

- 16歳、女性
- 学校へは少し遠いが自転車で通える圏内である
- 飯塚市の大きな塾に行っている
- 塾で友達がいる
- 塾がない日にも飯塚市で遊ぶことがある
- 家からバス停までは 10分以上かかる
- バスの遅延にもうんざりしている
- 親はなるべく車で送れるように考慮してくれる
(しかし何とかしてほしいと内心思っている)
- SNSをよく使い投稿もしている
- 部活は吹奏楽部
- バスは知っているが高齢者向けサービスと認識



必要とされる場面

小中学生の親



行政の運行による安心感

習い事・学童保育

(両親の就業時間中)

目的地まで送り届ける安心感

中高生

通学



市バス・JRを用いて隣町に
遊びに行く

(市バスまでは公共交通機
関がない)

必要なのに使っていないのはなぜ？

嘉麻市内の若者へのアンケート(n=14)

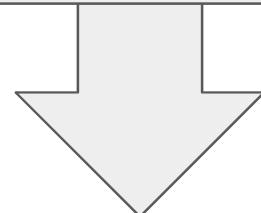
「デマンドバスを知らない」64%

「予約がめんどくさそうなイメージ」66%

→デマンドバスについて予約方法をはじめ、ほとんど知らない

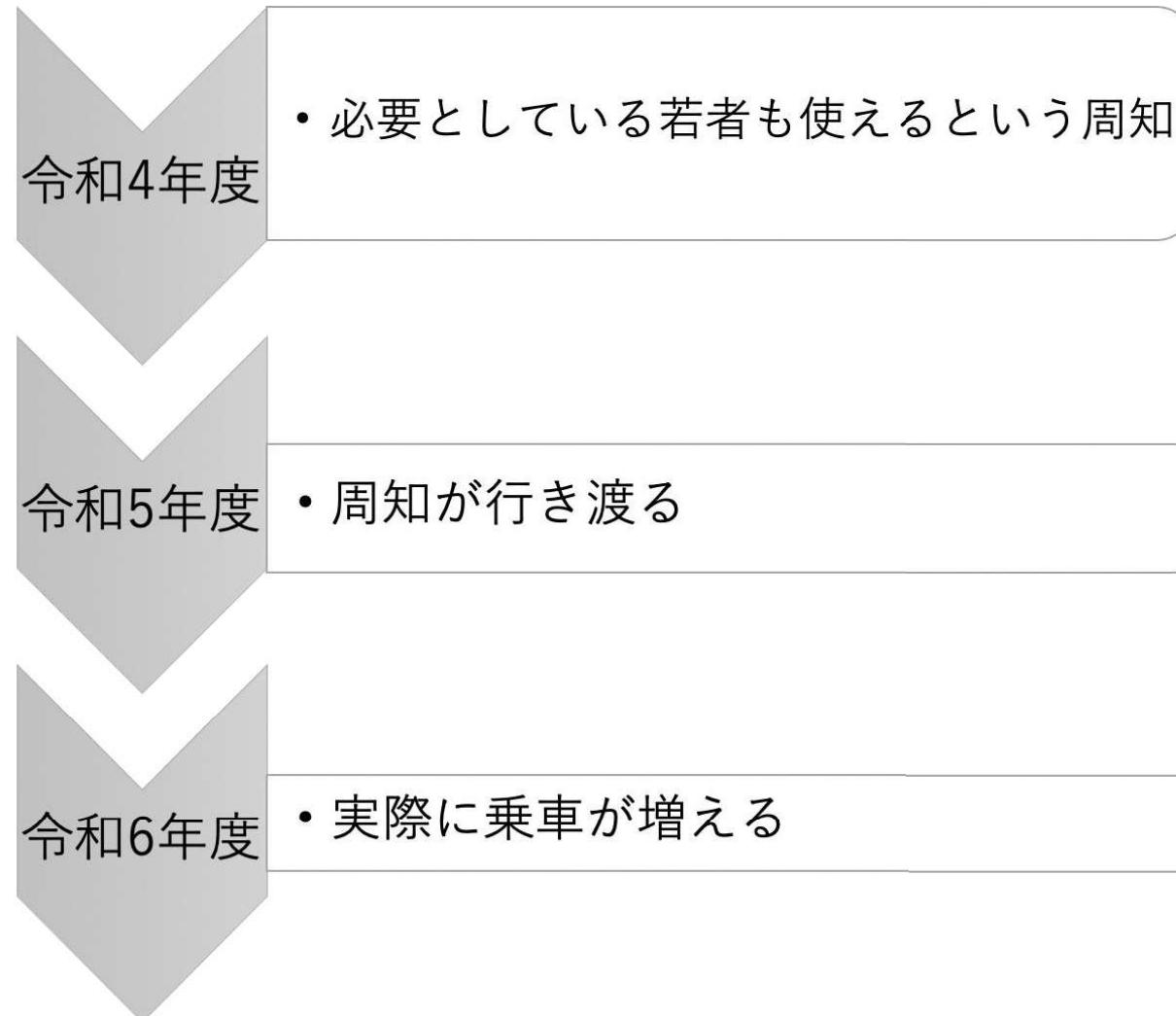
市役所

「高齢者向けのサービスとして始め、今でもその意識がある」



若年層がデマンドバスを知らない

若年層への施策



小中学生の親に対する施策

デマンド運行型バス =送迎サービスバス

小中学生の親

行政の運行による安心感

習い事

学童保育

目的地まで送り届ける

安全感

①確実な乗車と降車

②到着を確認

③遠隔操作で時間指定や場所を指定



小中学生の親が安心して送迎を任せられる

中高生に対する広報施策

中高生

通学

隣町に遊びに行く

SNSによる デマンドバスの情報拡散

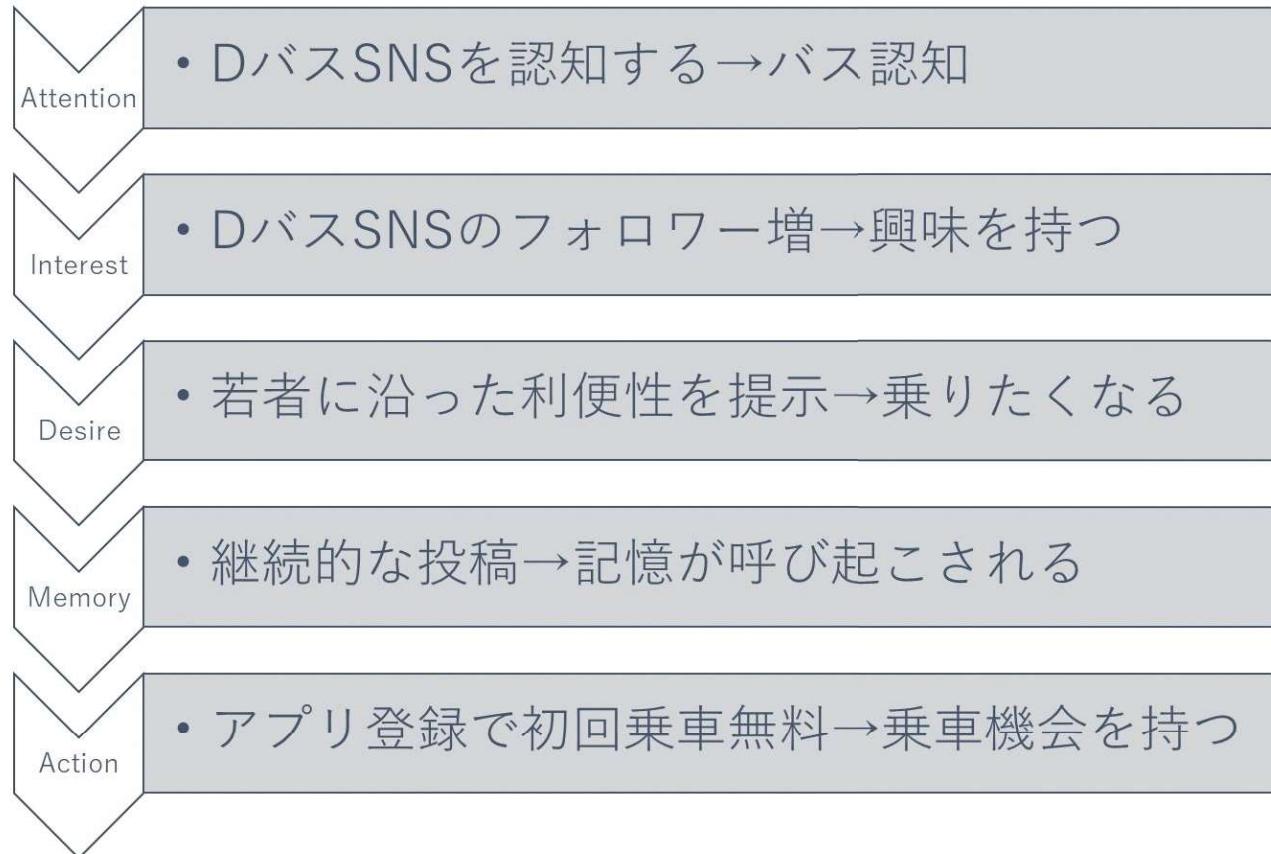


一例(チャンネル登録者数)

YouTuber おじとらチャンネル(22.3万人)

YouTuber ながの社長のハッピーチャンネル(56万人)

中高生への広報施策



中高生にデマンドバスの利便性に気づいてもらう！！



私たちが行うこと

- ・小中学生の親に対して「送迎バスサービス」施策
「送迎バスサービス」を計画、実行まで行う
デマンドバスとの些細な変更点の整理
運転手さんへの「中学生以下のお客様マニュアル」の作成
送迎バスサービスのパンフレットの作成
- ・小中高生に対する広報施策
地元の中高生と協力したSNSの運営

チーム：ペンギンの湯で広報を徹底して支援！！

嘉麻市さんへのお願い

<ご調整いただきたいこと>

- バス運転手さんに「中学生以下のお客様マニュアル」を守ってもらいたい
- 小中学生がよく行く習い事先に「送迎サービスバスのパンフレット」の設置をお願いしたい
- 嘉麻市役所、バス運転手の方々から出演者を選定していただきたい
- 嘉麻市の特産品などを題材に動画を撮影していただきたい

<予算の確保>

- パンフレット印刷代 304,000円(80部×3,800円)

合計:304,000円

アプリ予約件数増加見込み

2021年

9.8%

既存のイベントとの
コラボ

2024年

51.3%

若年層への
周知強化

アプリ予約割合50%達成！！

結論

高齢者

本質的課題

行政はアプリ予約を増加させたいが、
どうしても電話予約しかできない
高齢者が多い

施策

既存のイベントとのコラボ

若年層

本質的課題

若年層がデマンドバスを知らない

施策

若年層への周知強化

嘉麻市さんの思いに応えたい！！！

提案するグランドデザイン



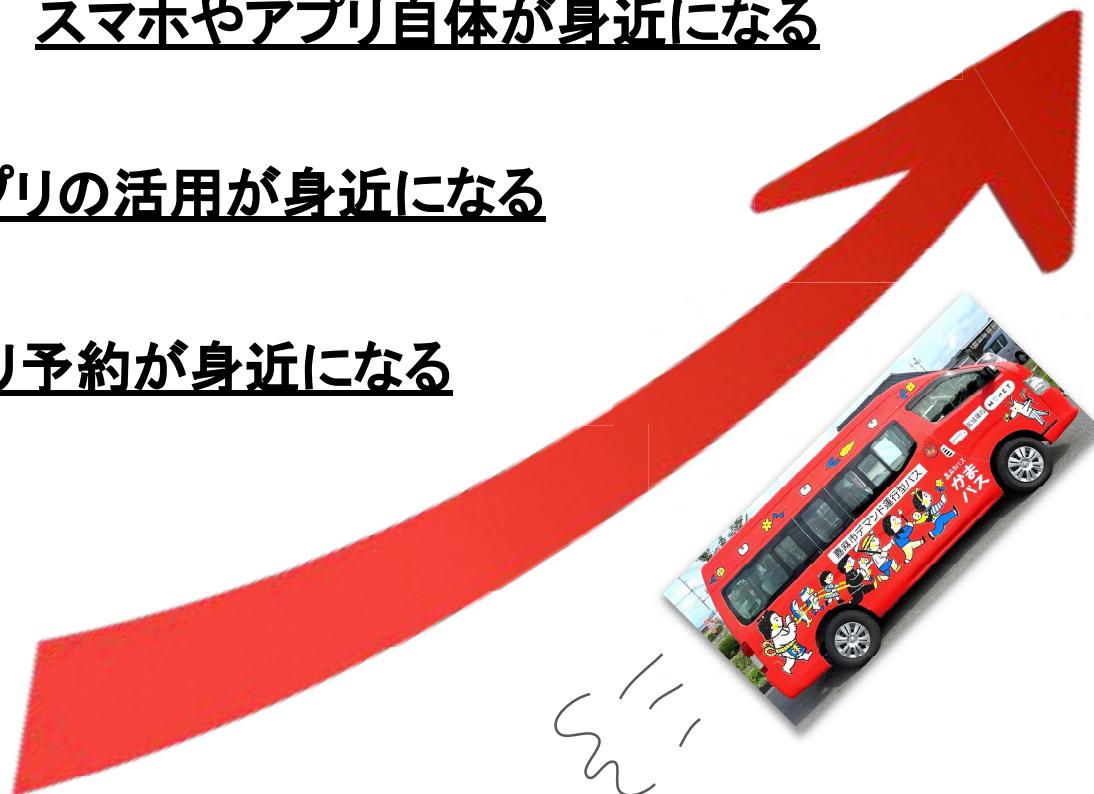
誰もが便利に暮らせる嘉麻市

スマホやアプリ自体が身近になる

スマホやアプリの活用が身近になる

デマンドバスのアプリ予約が身近になる

デマンドバスの事業拡大



若年層の周知

予算

426,650円

を使わせてください！

**デマンドバス予約アプリを皮切りに、
アプリを利用した住民サービスを展開し、
持続可能な社会をつくります！！**

ご清聴ありがとうございました